

映画「ふしぎな石」を上映しました 1月11日(土) @日立システムズホール仙台 エッグホール



東日本大震災から3年目に入り、過去の出来事として震災の記憶が薄れつつあります。被災地への理解と関心を深めることの大切さを感じてほしいと思い、被災地を舞台にした映画を上映しました。「津波のことを伝えたい」「命の大切さを表現したい」と自ら出演を希望した関上小学校の4人の児童が主演のフィクションです。(2013年8月作品)

この日は3回上映し、親子で参加された方も多く、来場者は190名でした。2回目の上映には、監督の桑山紀彦さんと実際にお子さんを亡くされ、映画にも出演されている丹野さんからご挨拶がありました。参加者からの感想：『子どもたちの自然な姿に驚きました。

いろいろ心の中に抱えたものがあつただろうに、それを乗り越えて映画に挑んだ子どもたち、そして自分のつらい体験を伝えてくれた大人たちに拍手を送りたいです。』『とても感動しました。子どもたちの演技もすばらしく、丹野さんのことばはとても重みのあるものでした。命の大切さを知るいい映画でした。』『関上の風の音、海、空が心に残りました。』など、95人から寄せられました。この映画のディスクを貸し出ししています。DVDとBlu-rayお問い合わせは 制作のNPO法人地球のステージ 電話 022-738-9220 <http://e-stageone.org/>

「未来の七郷まちづくり」完成披露会

1月28日、七郷小6年生の学習発表会がありました。総合的な学習の時間で、子どもたちが大人になった時のふるさと七郷の姿を創造して、模型に表現しました。山形大学、竹中工務店と連携し、日本ユニセフ協会がそのプログラムを支援しました。6年生4クラスの児童が、七郷地区の10年後、15年後のまちをA~Dの4区に分け、人：ユニバーサルデザイン、環境：サステナブルデザイン、防災：セーフティデザインの視点で創造しました。津波を防ぐシェルター、家の屋根にはソーラーシステム、光る道路、ふわふわ芝生の公園、ドッグラン、



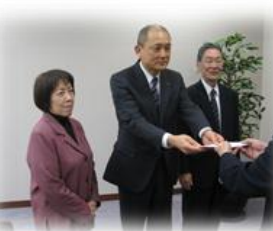
屋上で野菜栽培、イグネのある街など、現在の良いところを大いに取り入れ、夢があふれる未来のまちをたくさん見せてもらいました。

募金贈呈式

みやぎ生協からフィリピン台風緊急募金として669万円のご協力がありました。(1月22日)

仙台市立松森小学校からは、先生と児童10名が県協会を訪れ、17,267円の募金を持参してくださいました。(1月23日)

河北新報社寄託金の贈呈式が1月28日に行われ、県社会福祉協議会、仙台いのちの電話の3団体が出席しました。ユニセフへは4件222万円をお預かりしま



した。この中には(株)アルト様からのフィリピン台風緊急募金の120万円が含まれています。皆さまの尊いお気持ちに感謝いたします。



郡山市で「第1回シンポジウム～福島の子も支援の経験から学びあおう」が開催されました

1月26日、日本ユニセフ協会が後援し、NPO法人福島子どものこころと未来を育む会が主催したシンポジウムが開催され、根本匠復興省大臣が臨席されました。福島大学の教授や小児科医の先生、心のケアに関わるさまざまな団体、行政担当者、福島県生協連専務理事など多方面の方々が発言者として登壇され、それぞれの発表や活発な意見交換ができた1日でした。子どもたちの健康で明るい未来を育むため、情報を共有し、私たち大人の役割を再確認しました。『福島の子もたちを日本一元気に!』そうならば、日本の明るい未来が見えてきます。

宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウイズ1F

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef_miyagi@todock.jp

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

事務所：月曜日～金曜日

10:00～17:00

上記以外 070-6617-6284(五十嵐栄子)